

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年2月28日

事業所名 児童デイサービス メープル

		チェック項目	はい	どちらとも いえない わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5 (62.5%)	1 (12.5%)	2 (25%)	活動の内容に合わせて部屋を活用しています	基準を満たしているものの、ゆとりをもってすごせるよう、天気の良い日での近くの公園で外遊びとともに、現在の倉庫部分も含めたスペースの有効活用をしていきます
	2	職員の配置数は適切である	4 (50%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)		きめ細かな支援を要する児童の利用が重なる日を中心に配置基準以上の職員を配置できるよう今後も努めていきます
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5 (62.5%)	2 (25%)	1 (12.5%)		2階への階段の手すりや全般的な使いにくいなどの問題があれば今後改善していきます
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5 (62.5%)	2 (25%)	1 (12.5%)		今後も広くそろっての職員会議への参画と協議を進めていきます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5 (62.5%)	3 (37.5%)			昨年度実施できなかった避難訓練を実施するなどしました。今後も保護者の意向をふまえ業務改善に生かせるよう努めていきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5 (62.5%)	3 (37.5%)			昨年度もホームページで公開していましたが、周知できていなかったため、結果の公開とともにホームページの閲覧の案内を周知していきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3 (37.5%)	5 (62.5%)		今後、実施に向けて検討していきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2 (25%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)		開催時間等により参加できないことも多いので、外部で開催される研修会に運営面で都合をつけて可能な限り参加できるよう工夫していきます
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6 (75%)	2 (25%)		相談支援専門員との連携や保護者との懇談をふまえ、子どもの状況と課題の把握に努めています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1 (12.5%)	4 (50%)	3 (37.5%)		今後、活用を検討していきます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6 (75%)	2 (25%)		複数で考え、会議で活動内容を検討して反映させています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6 (75%)	2 (25%)		季節などのその時期に合わせた内容も工夫しています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6 (75%)	2 (25%)		利用する子どもたちの状況と課題をふまえ活動を設定しています	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6 (75%)	2 (25%)		利用する子どもたちの状況と課題をふまえ活動を設定しています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7 (87.5%)	1 (12.5%)		揃っての打合せの難しい職員には職員間の連絡ノートにて情報伝達をしています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6 (75%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	送迎があり終了後の打合せ時間を確保することが難しいが、午前中に話し合いをしたり、連絡ノートで行っています	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7 (87.5%)	1 (12.5%)		支援内容と子どもたちの状況を記録し、次の支援に生かせるようしています	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5 (62.5%)	3 (37.5%)		保護者懇談も実施して、子どもの状況と課題の把握に努めています	今後も定期的に行うとともに子どもや保護者のニーズをふまえて進めていきます
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2 (25%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)		個々の発達状況と課題をふまえ総則に沿った複数の活動を組み合わせますが、ガイドラインの内容を職員全体で再度確認していきます

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6 (75%)	2 (25%)		主に児童発達支援管理責任者が、また必要に応じて多く関わっている職員が参加しています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7 (87.5%)	1 (12.5%)		送迎時やサービス担当者会議等を通して、当日や最近の様子を情報交換をしています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4 (50%)	4 (50%)	今は該当する利用者がありません	今後、必要に応じて受け入れ体制を整えていきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1 (12.5%)	4 (50%)	3 (37.5%)		就学前の情報については主として保護者からの情報によりますが、今後必要に応じて進めていきます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1 (12.5%)	5 (62.5%)	2 (25%)	今は該当する利用者がありません	今後、必要に応じて情報提供等していきます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1 (12.5%)	5 (62.5%)	2 (25%)		児童発達支援センターを利用していた児童について情報交換や助言を求めたこともあり、研修については都合のつく機会に参加していくようになっています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5 (62.5%)	3 (37.5%)			児童クラブ等の子どもたちとの交流は特に設定していませんが、今のところ、職員の子どもたちと土曜や休日、長期休みの時に一緒に活動することがあり、利用している子どもたちもその機会を楽しみにしています
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4 (50%)	4 (50%)		機会があれば参加していくようになっています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6 (75%)	2 (25%)		日々の連絡ノートや送迎時の情報交換、必要な時は電話等で理解を深めるようになっています	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2 (25%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)		保護者から申し出があった時に対応し、今後も特に必要と思われる方に行っていきます
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5 (62.5%)	3 (37.5%)		契約時に行い、またその後の不明点に対する問い合わせにも丁寧に行っています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6 (75%)	2 (25%)			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1 (12.5%)	3 (37.5%)	4 (50%)		保護者の方から連携を支援してほしいという申し出があれば個々の状況に配慮しながら時機を見て対応していきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5 (62.5%)	3 (37.5%)		苦情があった場合には、その内容等を関係者から聞き取りをするなどしながら迅速・適切な対応に努めています	
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2 (25%)	3 (37.5%)	3 (37.5%)		今後、定期的に行事の予定や活動の様子をおたよりにて配布したり、ホームページを活用していきたいと考えています
	35	個人情報に十分注意している	7 (87.5%)	1 (12.5%)			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5 (62.5%)	3 (37.5%)			日常の連絡ノートで伝えるとともに、必要に応じて電話連絡や手紙を使うなどして今後もコミュニケーションを図っていきます
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1 (12.5%)	4 (50%)	3 (37.5%)		隣接する高齢者の施設に向向いて行事に参加していますが地域に開かれた運営については今後も検討していきます

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4 (50%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)		昨年度に策定してホームページに掲載していますが、周知が十分ではありません。今後、周知を図っていきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6 (75%)	2 (25%)		昨年9月に実施し、消防署に来ていただき避難訓練を行いました	今後も年に2回程度の定期的な訓練を行っていきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4 (50%)	4 (50%)			職員会議においてさらに研修を深めるなどしながら、適切な対応に努めていきます
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4 (50%)	4 (50%)		個別支援計画書に記載し、同意の署名をいただいています	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5 (62.5%)	3 (37.5%)		保護者から食物アレルギーに関する情報を確認しています	今後もおやつやお菓子づくり等において個別に対応していきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3 (37.5%)	2 (25%)	3 (37.5%)		今後も事例を職員間で共有し、事故防止に努めていこう進めていきます